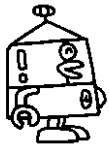


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
魚の卵の成長 / 理解シート

けんび鏡の使い方を教えて



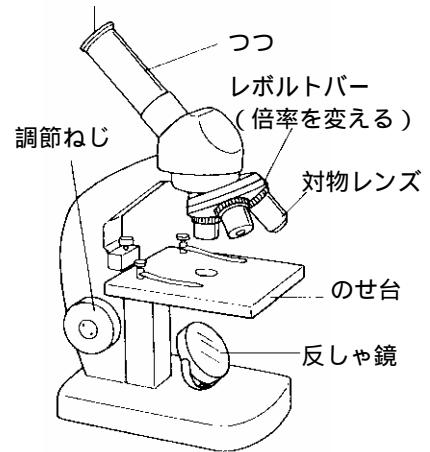
けんび鏡は、のせ台の近くの対物レンズと、目を当てる
方の接眼レンズの両方で物を大きくして見るしくみだよ。

けんび鏡を使うときのこつ

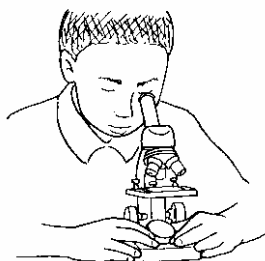
いちばん倍率の低い対物レンズを選び、のぞきながら反しゃ鏡を動かし、明るく見えるようにする。観察材料のプレパラートを、のせ台のとめ金でとめたら、横から見ながら調節ねじを少しずつ動かして、対物レンズをプレパラートすれすれに近づける。気をつけないと、対物レンズがプレパラートにぶつかり、レンズやカバーガラスが割れる。接眼レンズをのぞきながら、少しずつ調節ねじをときゃくに回して、対物レンズを上^{さが}に上げていき、いちばんはっきり見えるところを探す。

もっと大きくして見たいときは、レボルトバーを回して高い倍率のものに変える。さらに大きくしたいときは、接眼レンズを高い倍率のものと変える。見える倍率は、接眼レンズの倍率×対物レンズの倍率（例 $10 \times 30 = 300$ 倍）になる。プレパラートをつくる時は、観察する物をガラス板にのせ、スポイトで水を1てきたらしてカバーガラスを図のように重ね、はみ出した水をすい取る。

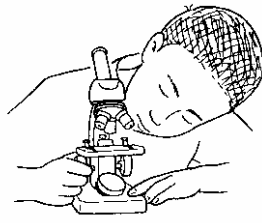
接眼レンズ
(倍率を変えるなら取りかえる)



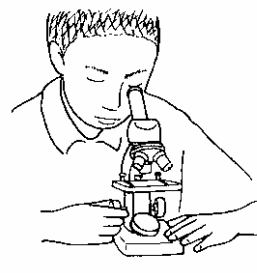
けんび鏡



反しゃ鏡を調節する。



対物レンズを近づける。



調節ねじでよく見える所を探す。

プレパラートをつくる

